

かわにし

議会だより

第109号

2012

4.15



まちの宝
輝く瞳

新三郷幼稚園入園式 P17に関連記事

24年度予算決まる

育て まちづくりの若い芽	2
議会基本条例制定をめざす	11
福祉問題など4議員が町政をただす	12
議会だより2年連続優良賞	23

育て、まちづくりの若い芽

3月
定例会



町のイベントには屋台で参加、若い力でまちづくり。かわにし塾わげしゅ

こんな町にしたい

まちの元気俺たちが

かわにし塾 わげしゅ 本間 翼 さん

わげしゅは、町を元気にしたいという熱い思いを持つ20代から30代のメンバーで構成しています。イベントへの参加や紅大豆カレーの販売など、自分たちが活動を楽しむことで、町の元気につながればと思っています。



みんなが笑顔の町

ユースクラブ 島貫恵美 さん

私たちの笑顔がみんなに広がって、笑顔があふれる町にしたいと思っています。川西はいろいろな花が咲き一年を通して魅力のある町なので、できれば四季ごとにイベントを行い、外からも多くの人を呼びたいです。



平成24年度一般会計予算の特徴

- ① 5年連続の増額予算。前年度当初比0.7%増の積極型。
- ② 投資的経費は10億744万円、過疎債の活用で11.9%増
- ③ 消防広域化で人件費12%減、負担金の増額により補助費18.4%増

平 成24年度の一般会計予算の総額は91億1700万円、前年度対比0.7%増。財政の健全化に努める一方、人工芝ホッケー場、町道整備など住民要望に応える投資的事業に取り組む。

地 域づくりでは「協働のまちづくり」を柱として、各地区交流センターが行う地域事業への支援やまちづくりマイスター養成などを実施する。(1215万円)

特 組にこれまで取り組んでいた交流・町民参画を促す各種の施策を一層推進することになっている。主な事業は次のとおり。

都市の若者に地域づくりの担い手になってもらう地域おこし協力隊は2名から5名に増員。(1707万円)

若者未来塾交付金事業で若者が主体的に活動する4団体に補助金交付。(100万円)

青年層の人材育成のための海外研修の実施。(204万円)

無限の可能性を持つ若い芽が伸びやかにしなやかに育つよう、まちづくりの今後の活動に大いに期待したい。

交流、町民参画に重点

一般会計91億1700万円

3月定例会のあらまし

3月定例会が3月6日から23日までの18日間の会期で開催され、第1日目に、固定資産評価審査委員会委員の選任を審議した後、条例など14議案、請願1件の審査を常任委員会に付託し、本年度補正予算、新年度予算など13議案の説明がありました。

第2日目に、一般質問を行い4議員が福祉や財政問題などをとりあげ町政をただし、第3日目に、補正予算、

新年度予算などの審査を予算特別委員会に付託し、その後議案を審査しました。

最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き付託した27議案を原案のとおり可決しました。追加提案された条例1件を可決、教育委員の任命に同意し、請願1件を継続審査として閉会しました。

なお、今期定例会の傍聴者は25人でした。

美女木げんき保育園運営委託料など



4月3日オープン、美女木げんき保育園

6932万円

民間立認可保育所美女木げんき保育園運営のため、国算定の基準の保育料を差し引いたのち、国2分の1、県、町各4分の1を負担する。また延長保育、病児保育*について補助金としては県3分の2、町3分の1の割合で負担する。

美女木げんき保育園委託料、補助金の内訳

	国庫負担金	県負担金	町負担金	保育料
運営費委託料	5854万円	2425万円	1212万円	1245万円
延長保育補助	588万円		392万円	196万円
病児保育補助	490万円		326万円	164万円

その他の主な事業

・東日本大震災災害支援	341万円
・若者未来塾交付金	100万円
・やまがた里の暮らし大学校	978万円
・地域おこし協力隊	1707万円
・デマンド型乗合交通	1376万円
・協働のまちづくり推進	1215万円
・子育て支援医療	5600万円
・合併処理浄化槽設置補助	1078万円
・浴浴センター支援	1800万円
・6次産業化支援	777万円
・冬期交通確保	1億3439万円
・橋梁長寿命化修繕	2100万円
・水道事業会計支援	5824万円
・フレンドリープラザ施設整備	5560万円
・フレンドリープラザ指定管理	5997万円

川西ブランド研究所設立

川西ブランド研究所を立ち上げ、産業全般にわたる優れた特産品づくりの指導・支援を充実し、川西ブランド米の商標登録を行うなど、ブランド性の研究と特産品などの販売の拡大をめざす。

314万円



仙台藤崎デパートでの特産品販売

**24年度
予算**

今年が目玉
ピックアップ

町道整備

2億5469万円

事業4年目となる三枚床道還線に1億3759万円、北郷八ッ口線に3000万円、菊田松線に2200万円、高田中沖線に2000万円、中小松東裏線に1650万円をあてるほか、オーバーレイ工事に1000万円、側溝整備に1240万円を予定し、町道の整備を進める。



完成まであと一歩、三枚床道還線

旧川西2中施設改修

4689万円

旧校舎の一部で雨漏りが見られることから屋根改修工事を行うもの。今後の具体的な活用計画を練っていく。



屋根改修工事を行なう旧2中校舎

人工芝整備でホッケーの競技力向上をめざす

人工芝ホッケー場整備

2億8367万円

長年、関係者から要望されていた人工芝ホッケー場1面を整備する。平成25年に本県開催が予定されている東北総合体育大会に対応するため、24年の完成を目指す。財源の一部にスポーツ振興くじ（toto）助成金5400万円を予定している。



消防の広域化

2億5130万円

東南置賜2市2町消防の広域化による、置賜広域行政事務組合に対する負担金。前年度に比較すると8344万円の減額となる。



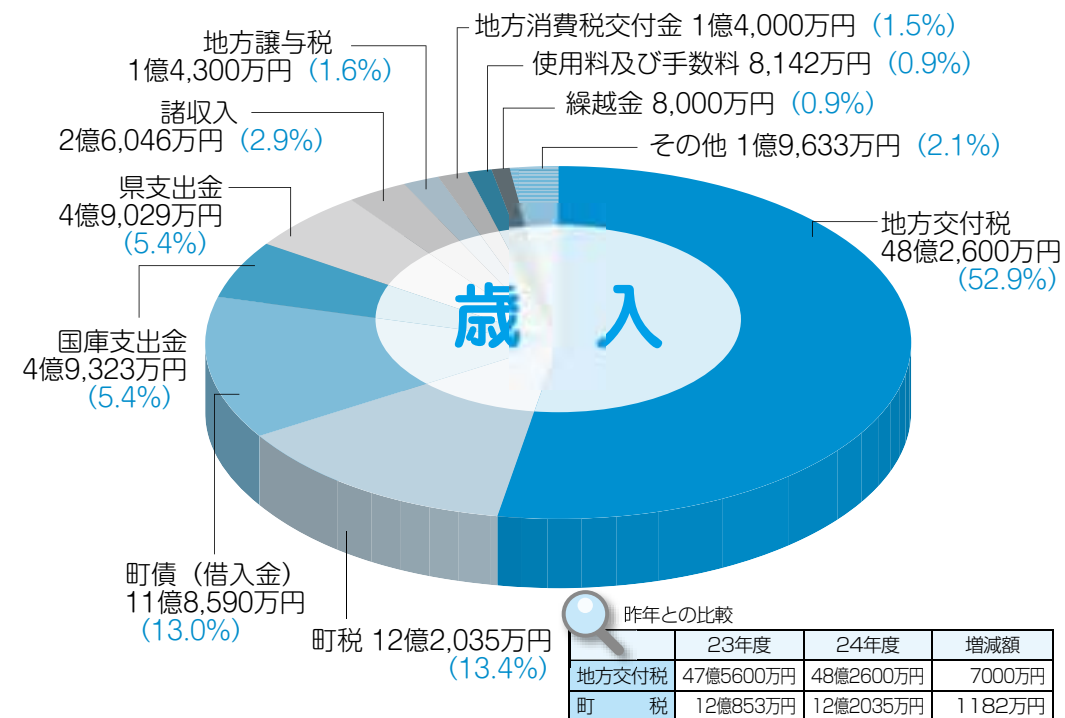
4月からスタート、広域消防

前年度との比較

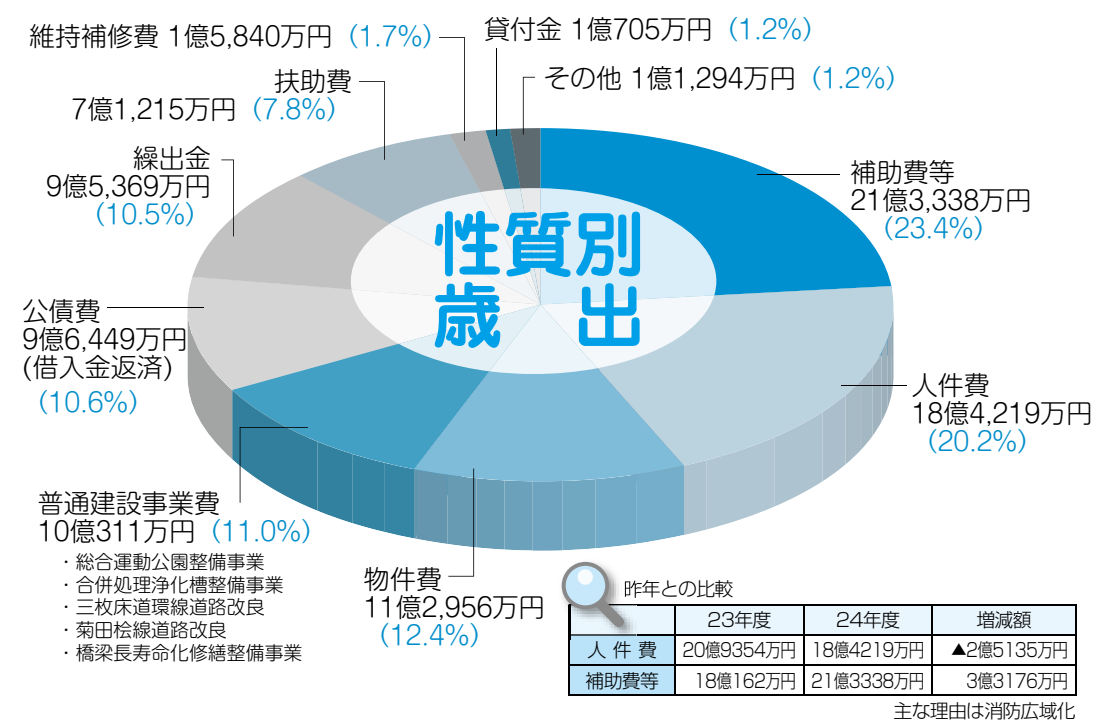
平成23年度
常備消防費
3億3643万円

⇒

平成24年度
置賜広域負担金
2億5130万円



一般会計 91億1700万円



平成24年度各会計予算

会 計 別		歳入歳出予算		議決の内容
一 般 会 計		91億1700万円		全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計		18億4200万円		賛成多数により可決（反対1）
下 水 道 事 業 特 別 会 計		5億9654万円		全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計		8452万円		全員賛成により可決
介護保険事業特別会計		16億2361万円		賛成多数により可決（反対1）
後期高齢者医療特別会計		1億5577万円		賛成多数により可決（反対1）
企業会計		収 入	支 出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億1288万円	5億1288万円	全員賛成により可決
	資本的	7430万円	※2億1829万円	

※不足する1億4399万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

総括質疑

広域行政民意の反映は

橋本 欣一 議員

橋本 施政方針で行政の広域化については「広域連携できるものは積極的に取り組む姿勢である。」とあるが、国民健康保険事業の県一本化の話は聞くが他に具体的動きはあるのか。

副町長 副市町長会で税・水道・6次産業化などが話し合われている。議会に意見を聞く場も設定していきたい。

投資的事業、喜べない

黒澤 巖 議員

黒澤 5年連続の増額予算となった今年は、投資が重なったが、はたして手放して喜んでいいか疑問だ。結局、この負債は、人口減となる将来の町民が返済することとなり、その荷重は今日の私たちの比ではない。

町長 また、このまま国の支援がいつまでも続く保障はない。さらに借入金を少なくすることに異論はないが、町民の暮らしや喜びを感じられるような自治体経営も必要であることを理解してほしい。

過去の財政悪化の原因は

高橋 輝行 議員

高橋 町長は財政悪化の原因を教育施設、フレンドリープラザ、浴浴センターなどの多額な負担としたが、当時は必要な整備と考えていた。国の三位一体改革による地方交付税がピーク時に比べ約13億円減額となったのが原因では。

町長 就任当時、財政状況は危機的状況にあった。財政赤字が生じ、財政再建団体に転落する危惧が目前であった。そのため健全化を図り自主自立のシステムを確立する大綱を策定して取り組んできた。

増収対策は未収金収納から

高橋 照夫 議員

高橋 経済の低迷や雇用不安などにより町税の滞納額は今年度まで約2億6000万円にのぼる。納税者の生活や権利(公債権、私債権など)による時効)はあるものの、税の公平性や本町の歳入の根幹をなす町税の増収を図るうえでもきめ細かい収納向上に向けた施策が必要と思うが。

町長 税の不平等化や納税の低下対策として、滞納処分徹底や相談員を配置し、生活が成り立つ個別相談、納税意識の高揚からの収納率向上をめざしたい。

川西の特産品 ブランド確立を図れ



地下かんがいシステムで野菜づくりに励んでいます

問 川西ブランド研究所の具体的な内容は、6次産業推進室内に川西ブランド研究所を設置し、町そのもののブランド性を高める研究を進める。また川西ブランドの確立に向けた認定制度の導入などに取り組む。

意 農業者の経営指針となり、営農意欲を促進する目標の設定を図るよう。

意 玉庭放牧場運営に対する補助金の考え方は、山形おきたま農協が管理運営する玉庭放牧場及び繁殖育成センターへの支援として250万円を予定している。

意 本町畜産振興の拠点として継続的に土地及び施設の有効活用を図るよう。

意 有害鳥獣対策はどうするか。

意 猟友会川西プロックに対し、運営支援を行う。

意 サル被害などが多発していることから、先進地の対策例等の情報収集に努め、有効な対策を行なうよう。

意 在宅福祉支援事業の新規事業である「地域支え合い事業」の内容は、高齢者のみの世帯に医療情報を記載した救急医療情報キットを配備する。緊急搬送時に救急隊員が適正な医療を行うことができるようにする。

意 合併処理浄化槽設置事業の見通しはどうか。

意 24年度の設置補助は26基分を予定している。補助対象区域は公共下水道や農業集落排水事業の整備済区域以外とする。

意 設置を希望する人全員が補助金を受けられるよう対策を講ずるよう。

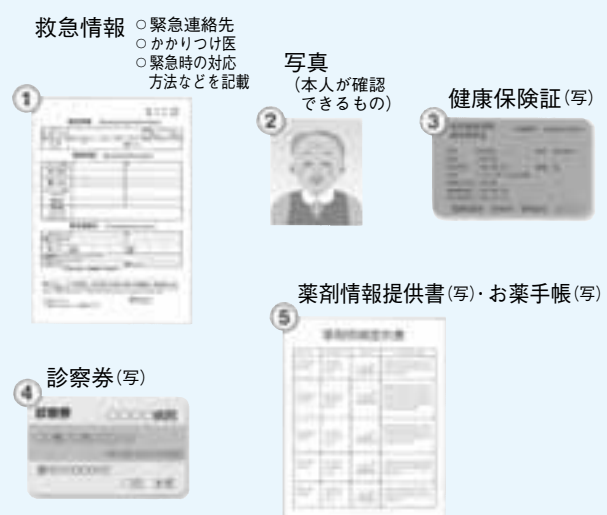
意 介護一次予防事業の具体的な内容は何か。

意 健康教室事業のほか新規事業として「脳いきいきチェック事業」に取り組み、認知症予防に努める。

意 水道事業の未収金対策はどうなっているのか。

意 水道料は私債権との判例があったことから時効が2年となった。時効の援用はあるが、水道料未収金の不納欠損額を500万円と見込んでいる。未収金の回収に努めるように。

救急医療情報キットに入れるもの



デマンド型乗合交通 他市町に行けないか



さらなる利用の拡大を望む、デマンド交通

意 主催の勉強会が行われている段階である。

意 消防広域化後の宿日直の体制はどうなるのか。

意 これまで消防が担っていた夜間の宿直業務を警備業者に委託し、戸籍の届出受理や斎場利用の受付などを行う。

意 全地区に自主防災会が組織化されたが、今後の補助金はどうするか。

意 これまでは自主防災組織の設立支援であったが、24年度以降は活動支援に切り替える。

意 各地区の公平性を図るよう。

意 ふれあいの丘整備推進事業をどうするか。

意 24年度に民間で構成する検討委員会を立ち上げ、グリーンプark、置賜公園、小松スキー場、内山沢一帯の「ふれあいの丘」の整備計画を策定する。

意 電算システムの管理費は、法改正が行われるたびにシステム改修が必要となる。

意 国に対して交付税措置の要請を行うよう。

意 水道事業会計への支援は、経営健全化計画に基づき運営されているが、老朽化した施設や老朽管更新の対応が困難なので、緊急性を考慮しながら一般会計から支援を行っている。24年度は5800万円を予定している。

意 地区センターに対する消費税課税はどうか。

意 水道事業は、経営健全化計画に基づき運営されているが、老朽化した施設や老朽管更新の対応が困難なので、緊急性を考慮しながら一般会計から支援を行っている。24年度は5800万円を予定している。

意 学校給食の食材の放射能検査はどうするか。

意 24年度に県が行う食材検査の動向を踏まえ、検査要望などの対応を検討する。

意 広域化後の消防施設整備はどうなるのか。

意 広域消防になっても支障がないよう消防施設整備計画に基づき整備していく。



栃木県塩谷町で議会改革を学び、本町の議会活性化をすすめる

3月定例会最終日に、議員発議により「議会活性化検討特別委員会」の設置を可決した。これまでも本町議会では、一般質問の一回一答方式、一般質問時間の延長、政務調査費の領収書添付義務付け、議会広報の充実、広報への町民参加、インターネットによる議会生中継、録画配信など、議会改革や活性化に積極的に取り組んできたが、さらなる改革を目指し特別委員会で議論を深めることとした。

年4月30日まで。審査事件は、議会基本条例の策定、議員定数と報酬、その他議会活性化に関する事項を調査研究する。議会基本条例は、議会の運営をどのように行うかを定めた議会の最高規範ともいえる条例であり、平成18年北海道栗山町議会で制定されたのが始まりである。その後全国的に制定され、平成23年3月現在で94市51町4村に及び、県内では酒田市、庄内町、河北町が制定している。

Main agreement items section containing three numbered points: 1. Council Basic Ordinance Formulation, 2. Council Member Numbers and Remuneration, 3. Other measures for council activation.

特別委員会設置

議会基本条例制定をめざす 議員定数も議論

Table with 2 columns: Role (e.g., Council Member, Vice Council Member) and Name (e.g., Kato Shun-ichi, Kuroki Ryo).



美女木げんき保育園開設で子育て支援の充実

6次産業化推進プロジェクトについて、23年度に策定した「6次産業化推進計画」をどう具現化するか、具体的な施策について説明を求める。

しながら推進する。事業戦略構築研究所代表の高木響正氏とアドバイザー契約を行い、資源調査、拠点施設の総合的な戦略的指導を受けるとともに、具体的な特産品開発、販売戦略など実践者への直接指導を行う体制を整える。

- 家・洪佐一夫氏をアドバイザーとし、園芸作物に積極的に取り組める環境を整える。地域に根付いた産業振興、町の情報発信の拠点施設の整備についても具現化をしていきたい。①進捗度が確認できるよう、数値目標を定めるべき。②視察研修の成果がより得られるよう、少人数による実施などを工夫すべきである。③置賜農業高校との関わりを今まで以上に強化すべきである。④拠点施設の整備については、運営主体はもとより設置場所についても市場性などを調査して臨むこと。

町長に聞く

平成24年度の予算について、特に政策的な事項を町長にたずねました。

問 町立小松保育所と民間立美女木げんき保育園は、保育時間、時間外保育料に格差がでることがわかった。改善できないか。町長 小松保育所の保育時間は午前8時30分から午後5時までの8時間30分を保育時間としており、

普通交付税算定基礎となっている。時間外保育は有料で早朝1時間、居残り1時間を実施している。(1時間当り月額2000円) 美女木げんき保育園は、最大11時間までが保育所運営国庫負担金算定の対象とされており、午前7時15分から

午後6時15分までの11時間を基本の保育時間としている。さらに1時間独自に有料で時間外保育を行うとしている。通常の保育にかかる保育料は、公立、民間立の違いはあっても、町の基準額表により同額の負担となる。

このたび民間立の認可保育所が開園したことによって、公立と民間立に対する国庫の支援の違いが浮き彫りとなった。指摘のあった保育時間や時間外保育料の保護者負担について今後の課題と捉えている。格差が生じることから、検討を急ぎ、子育て支援の強化を図りたい。

Table showing differences in childcare hours for Rikuso Kindergarten and Biyaki Kindergarten, including standard and after-hours care times.

一般質問

放課後「児童クラブ」と「子ども教室」のちがいは

町長 ― 負担有りと負担無し、地域事情を考慮

淀

鍵っ子、いじめ、虐待、学級崩壊などの社会現象が起きている教育界。国、県は鍵っ子や遊べない子どもたちの対応に、厚生労働省所管「児童クラブ」と文部科学省所管「子ども教室」事業を進めている。

本町も平成19年度から、この2つの事業に取り組んでいる。「児童クラブ」は月額1万円、「子ども教室」はおやつ代として月1000円ほどの保

淀

また「児童クラブ」の事業を「子ども教室」の事業が補完的役割を果たし、イベントが中心となっている。しかし、この2つの事業の中身や趣旨がほとんど変わらないようであ

淀

山形県は共働きの家庭が全国で上位を占め、共働き家庭にとり、この事業は好評である。しかし、負担金が多いため低所得世帯の中には利用を諦める場合もある。利用

料金の軽減の考えは。

豊

町としてもよく調査し対応を検討する。

淀

玉庭学区では、学校校舎の開放で「子ども教室」のみ開いている。他学区での校舎利用はどうなっているか。

豊

「子ども教室」は体育館や空き教室を使用している。「児童クラブ」校舎利用は協議中である。

淀

昨年、「子どもたちの放課後を



淀 秀夫 議員

定例会2日目に、4人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。



学校校舎での子ども教室、玉庭地区

PO立ち上げの予定は。

豊

NPOが立ち上げられ、積極的な支援をして行きたい。地域の宝、国の宝ともいわれる子どもに対し、地域に密着した子育てと、行政側の子ども支援の大切さが重要と考える。

淀

地域の子ども支援の大切さが重要と考える。

橋本

4月から始まる第5期介護保険事業計画では、保険料を4パーセント引き上げの5万400円（月額4200円）とした。

保険料の一部を積み立てた介護給付準備基金が1億7566万円ある。被保険者は高齢

ということから、死亡や異動があるため、その期間内に使うようにという指示があるが、

取り崩し額を増やせば値上げせずにすむのではないか。

豊

保険料が不足する可能性がある。その場合は県の基金からの貸し付けを受けられるが、次期に償還す

豊

現在町内には訪問介護事業所が2つ、訪問看護事業所が1つある。両事業所とも現在午後6時30分以降のサービス利用者がいない状況である。今後、一定の利用が見込まれる時点で実施

改定介護保険では、要介護高齢者の在宅生活を支えるため24時間訪問介護・看護サービスを創設できると、本町ではどう

橋本

は、要介護高齢者の在宅生活を支えるため24時間訪問介護・看護サービスを創設できると、本町ではどう

豊

現在町内には訪問介護事業所が2つ、訪問看護事業所が1つある。両事業所とも現在午後6時30分以降のサービス利用者がいない状況である。今後、一定の利用が見込まれる時点で実施

に向け進める。

橋本

第5期計画では在宅介護にも重点を置くように見える。在宅介護を支えるためには住民参加が必要と言われている。

たとえば住民によるボランティアにポイントをつけ、将来介護を受けるようになった時に使うというポイント制があるが導入を考えるとどうか。

豊

第5期計画では新たに配食サービスや認知症高齢者の見守りを計画している。これらを進めるには地域の方々の協力が必要となる。継続的な事業とするためにも有償ボ

ランテニアや協力者への支援もひとつの方法と考える。

橋本

高齢者の買い物難さの改善が必要だ。この冬は、大雪のため駅西から駅東の大型スーパーに行くまで大変なことだった。頻繁な除雪体制が必要ではないか。

豊

介護認定を受け、買い物などの手伝い制度を実施している。商業施設近辺の交通安全施設は整備を行っている。除排雪は、今年の豪雪では不十分な点もあった。今後とも県と協力しながら安全を確保したい。

豊

介護認定を受け、買い物などの手伝い制度を実施している。商業施設近辺の交通安全施設は整備を行っている。除排雪は、今年の豪雪では不十分な点もあった。今後とも県と協力しながら安全を確保したい。

橋本

介護認定を受け、買い物などの手伝い制度を実施している。商業施設近辺の交通安全施設は整備を行っている。除排雪は、今年の豪雪では不十分な点もあった。今後とも県と協力しながら安全を確保したい。

基金の大幅な取り崩しで介護保険料の引き上げを抑えるべき

町長 ― 取り崩し額を55パーセントとし、極力引き上げを抑えた

豊

保険料が不足する可能性がある。その場合は県の基金からの貸し付けを受けられるが、次期に償還す

豊

現在町内には訪問介護事業所が2つ、訪問看護事業所が1つある。両事業所とも現在午後6時30分以降のサービス利用者がいない状況である。今後、一定の利用が見込まれる時点で実施

豊

第5期計画では新たに配食サービスや認知症高齢者の見守りを計画している。これらを進めるには地域の方々の協力が必要となる。継続的な事業とするためにも有償ボ



橋本欣一 議員



地域全体で介護を支える

一般質問

財政赤字の立て直しは

町長―職員数を含む 徹底した管理経費の削減を



齊藤智志 議員

齊藤 原町長は、就任早々「財政再建」と「協働のまちづくり」に力を注いできた。当時の町財政は、多額の借金をかかえ破綻寸前といったもおかしな状況であった。この8年間の財政立て直しの成果と今後の課題は何か町長に聞きます。

就任した10月には、

「町行財政改革大綱」や5年計画での「集中改革プラン」を策定し財政健全化に取り組んだ。職員削減を含む徹底した管理経費の削減や事務事業の見直し、公共施設管理運営の改善などを進めてきた。

協働のまちづくりで町は変わったか

齊藤 原町長は、財政立て直しと同時に「協働のまちづくり」に力を注いできた。しかし、その手法が浸透せず、不平不満や心配する声も多く耳にするが、どう認識し対応してきたか。

町長 まちづくりのテーマを「発見」「協働」「実現」から「地域再生」へとし、協働のまちづくりの施策を展開してきた。各地区計画の策定により、個性と自主性が発揮され祭りや農産物販売、自然環境の保護など新しいまちづくりの事業を展開していただいていた。高く評価されており町の誇りである。

齊藤 まちづくり基本条例に「議会の役割規定」が抜けている。まちづくりは、役場と町民と議会の3者



徹底した事務事業の見直しで行財政の改革を

がそれぞれの役割を果たすことによつて発展する。議会もパートナーだ。どう考えているか同僚。

町長 まちづくり基本条例を制定したときは、議会の自主性を尊重し「議会条例」を入れなかった。条例の改正を検討しているが、私としては、今の時点で盛り込む必要はないと考えている。

※過疎債 「過疎地域自立促進特別措置法」による地方債。交付税措置は、元利償還金の70%を基準財政需要額に算入することとなっている。

人工芝ホッケー場使い勝手悪いのでは

町長 ― 一面でも問題ない

がれき処理の対応は

高橋 東日本大震災でのがれき処理を国は広域処理する方針である。昨年、置広千代田クリーンセンターでは、4月11日から7月31日までの間、石巻市の一般家庭ゴミ（可燃）4822トンを受け入れ、すでに処理してきた経過がある。今後の対応は。

町長 各市町村に対しは、昨年10月に国から受入検討調査があった。置広千代田クリーンセンターでは処理能力の面で過当たり350トンの受け入れが可能であるが、焼却施設は、全面停止によるオーバーホールを予定しており、現状では受け入れは困難である旨の回答を行ったということである。

高橋 がれきの受け入れ問題が置広広域議会で議論されると予想されるが、その際理事としてどのように判断されるのか。

町長 置賜広域行政事務組合理事会並びに議会において、受け入れにあたっては県内の状況を把握するとともに、処理施設周辺の住民とも協議を行う必要があると考えている。なお、埋め立て施設である浅川処分場は

高橋 人工芝ホッケー場建設について、

町長 人工芝・天然芝を一面づつとすることで公式大会運営

決定までの経過を尋ねる。建設の決定までには、人工芝競技場建設検討委員会を設置し、基礎データの比較検討、利活用方法などの内容について、視察を含め4回にわたり検討いただいた。その結果をもとに、スポーツ振興審議会に諮問した。

高橋 人工芝・天然芝を一面づつとすることで公式大会運営

町長 人工芝・天然芝を一面づつとすることで公式大会運営



人工芝ホッケー場で技を磨け

高橋輝行 議員

条例

介護保険料・置賜では一番安い月額4200円に

介護保険条例の一部改正
国の介護保険法改正に伴い、1号被保険者である65歳以上を対象に、平成24年から26年までの3年間の保険料の改定を行い、基準月額を4200円に改めるもの。



元気なお年寄りに、介護予防が大事

改正の理由は、平成2年からの20年間で65歳以上の人口が44%増加したことや、今後団塊の世代が65歳を迎えることを想定したことによる。
保険料の設定は、被保険者の負担能力に応じて6段階から9段階と細分化することによって、改善されている。また、準備基金から8700万円を取り崩し負担の軽減を図った。この月額4200円は県内でも低い方から6番目で、置賜では最も安い保険料となっている。

賛成多数で可決
(反対1)

置賜3市5町の介護保険料基準額比較

	第4期	第5期	比較
川西町	4040円	4200円	160円
米沢市	4075円	5225円	1150円
南陽市	3800円	4700円	900円
高畠町	3400円	4700円	1300円
長井市	4292円	4617円	325円
小国町	4217円	4625円	408円
白鷹町	3550円	4381円	829円
飯豊町	4150円	5290円	1140円

川西町介護保険料比較

平成21～23年度(第4期)			平成24～26年度(第5期)		
段階	割合	保険料	段階	割合	保険料
1	0.5	2020円	1	0.5	2100円
2	0.5	2020円	2	0.5	2100円
3	0.75	3030円	3	0.65	2730円
4	1	4040円	4	0.75	3150円
	0.9	3636円	5	0.9	3780円
5	1.25	5050円	6	1	4200円
	1.5	6060円	7	1.15	4830円
6	1.5	6060円	8	1.25	5250円
			9	1.5	6300円

子育てをサポート

子育て支援センター条例

例
これまで吉島幼稚園の空き教室を利用して子育て支援事業を行ってきたが、同施設を継続的な活動拠点として活用する。
事業内容は、センター型(毎日型)とし、週



子育て支援センターとなる吉島幼稚園

5日、1日5時間以上開設する。

- ①子育て家庭の交流
 - ②子育てに関する相談及び指導
 - ③子育てに関する情報の収集及び提供
- 等、本格的な子育てサポート体制を整える。また子どもまつり等のイベントの拠点とする。

全員賛成により可決

安心して暮らせる町を

暴力団排除条例

暴力団があらゆる社会経済活動に進出していることから、町民の安全で平穏な生活を守るため、暴力団の排除について基本理念や町の責務、町民の役割等を定める。

23年8月に県条例が制定され、この3月まで県内全市町村が制定。

全員賛成により可決

県たばこ税の一部を市町村に移譲

税条例の一部改正

道府県たばこ税の内1000本につき644円を市町村に移譲する。25年4月から適用。退職所得に係る10%税額控除の廃止、個人住民税均等割税率加算など、合わせて年間約2000万円の増収が見込まれる。

賛成多数で可決
(反対1)

その他の条例議決状況

条例内容	議決の内容
公民館条例の一部改正	全員賛成により可決
町立図書館条例の一部改正	全員賛成により可決
スポーツ振興審議会条例の一部改正	全員賛成により可決
印鑑条例等の一部改正	全員賛成により可決
町営住宅管理条例の一部改正	全員賛成により可決
防災会議条例の一部改正	全員賛成により可決
交流センター条例の一部改正	全員賛成により可決
非常勤職員等の公務災害補償に関する条例の一部改正	全員賛成により可決

表紙の写真



まちの宝 輝く瞳

平成24年度から、中郡幼稚園・吉島幼稚園・東沢へき保育所の3つが統合され、美郷幼稚園がスタートしました。

園児数が109名となり、ちよつと幼稚園が狭いような感じもしましたが、園児は元気いっぱい、友達が多くできるのを楽しんでいるようでした。
こどもは町の宝物です。この宝物を大事に大きく育てるのが私たち大人の役割です。子どもたちの笑顔がいつまでも続くことを願うものです。

23年度予算で 小松小学校全面改築



健やかに育て、子どもたちを大事に大切に

主な内容

子育て支援医療費を追
加

少子化対策の柱として、23年度6月から川西町独自の中学3年生までの医療費無料化の制度が開始された。当初見込んだ給付額を上回ることから追加補正を行った。

山形交通バス運行への補助増額

米沢・小松間（六郷経由）のバス路線は、米沢市に通学する高校生や医療機関の利用者には欠かせない交通手段であり、山形交通の協力により「足の確保」を図ってきた。

この路線は赤字路線

平成23年度補正予算(3月)の主な事業	
(一般会計) 100億7836万円(減額2505万円)	
子育て支援医療事業・医療費	339万円
バス路線維持費補助金・山形交通・米沢小松線	234万円
置賜広域病院組合運営負担金	5971万円
障害者自立支援特別対策事業・委託料	117万円
農地・水・環境保全向上対策補助金	▲802万円
戸籍住民基本台帳事務事業・委託料	▲941万円
健康診断・各種検診事業・委託料	▲400万円
障害介護給付等事業・介護給付費	▲2500万円

子育て支援に力を注ぐ 医療費無料化順調に進む

のため、川西町と米沢市が運行距離によってそれぞれ補助金を出しながら運行してきたが、23年分が確定したことにより増額補正を行った。本町は38%の負担

となっている。
川西町民の利用者数は、昨年12月の22日間で118人、今年2月の29日間で148人となっている。

全員賛成により可決



全面改築となる小松小学校、工事は24年度から

1月臨時会

主な内容

小松小学校耐震化事業で全面改築

国の第3次補正予算により、小松小学校の耐震化事業が23年度事業として予算化された。国庫支出金は2億3165万円で、町債(借入金)4億5170万円を充てる。この元利償還金の80%は地方交付税に算入される。

今年度は、事務費を含めて7億423万円が予算化され、24、26年度の債務負担行為として10億2174万円が計上された。

また防災施設整備事業として庁舎に発電機を1165万円で設置する。全額町債を充て元利償還金の70%が交付税に算入される。

賛成多数で可決
(反対2)

2月臨時会

主な内容

大雪から町民の生活守れ

今冬は2年続きの大雪となり、2月4日に昨年を上回る1メートル74センチの積雪を記録した。

2月20日現在で高齢者を含む7人の重軽傷者を出し、ハウスや畜舎などの倒壊被害は10件にのぼった。

今回の補正は、道路交通の確保をはじめ、施設の除排雪や高齢者宅などの雪下ろし援助、除雪ボランティア団体への援助、農業施設関係の雪害対策に対するもの。

道路除雪費予算は、当初と合せて1億8700万円となった。なお2月末まで1億5832万円を支出した。

全員賛成により可決

平成23年度補正予算(2月)の主な事業	
(一般会計) 101億342万円(増額8740万円)	
冬期交通確保・道路除雪費	6700万円
ボランティア除雪等推進助成・補助金	80万円
農業用施設等雪害対策・補助金	46万円
小学校、中学校施設維持管理費・燃料費	244万円
小学校、中学校事務経費・除雪費	600万円
フレンドリープラザ、まどか、幼稚園地区交流センター等管理運営・除雪費	66万円
その他の公共施設管理経費・除雪費	150万円
在宅福祉支援・除雪費	271万円

平成23年度補正予算(1月)の主な事業	
(一般会計) 100億1602万円(増額7億1800万円)	
小松小学校耐震化事業・工事費	6億8641万円
フレンドリープラザ管理経費・除雪費	200万円
地籍調査事業・委託料	138万円
小学校事務経費・除雪費	406万円
小松小学校耐震化・委託料	117万円
防災対策事業費・発電機設置工事費	1165万円
農林水産業創意工夫プロジェクト支援補助金	431万円
(特別会計) 川西町下水道事業特別会計	
流域下水道建設事業負担金	99万円

旧2中校舎ひどい雨漏り

委員会 レポート

旧校舎を視察、活用は
旧2中校舎には、「里の暮らし大学校」の事務局や吉島地区交流センター1仮事務所が置かれている。今後は交流の拠点として活用される予定のほか、災害時の物資保管、遅筆堂文庫書庫などとして活用予定である。

特に大雪のこの冬は、南・北側のベランダに溜まった雪が大きな雪庇となっており、生徒がいた時から除雪には苦勞していたとのことであった。

まだ、築15年目だが、校舎屋上、体育館屋根

からの雨漏りが激しく、部分的には天井が腐れ落ちており、今後継続して使用していくには早急な修理が必要である。24年度予算では4689万円の修理費が計上されている。

甘かった見直し
統合した川西中では教室が足りなく、一時的にプレハブ教室が必要となり建設中である。一方では生徒のいない寂しい校舎があったりと、県町の教育行政の施策時期のずれがあったとはいえ、どこかちぐはぐである。

がらんとした校舎は何とも寂しい。



農業後継者の育つ所得拡大を、こうぞく地区基盤整備事業

ないこともあり、作付けがなかなか進まない。農業をやっても収益が少ない現状である。

どのようにデザイン
②については、マスタープランありきで話を進めるのではなく、地域の農業、本町の農業をどのようにデザインするかという観点から議論する必要がある。産業として農業が成り立つためにも農家の集合体を育てていく必要もある。マスタープランが活用できなくても、今後の農業をどのように構築するか、議論しなければならぬ時期である等の意見交換が行われた。

人事



新たな教育委員

小野氏就任

教育委員会委員の任命に同意

●小野 庄士しょうし

住 所 米沢市春日(川西町玉庭生まれ)
プロフィール

- ・昭和53年4月教員採用され県立米沢東高校配属
- ・平成2年4月から山形県教育庁指導課配属
- ・平成15年4月から高島高校校長に就任
- ・置賜農業高校校長 米沢工業高校校長を経て
- ・平成23年4月から米沢東高校校長に就任
- ・平成24年3月31日退職

全員賛成で同意

固定資産評価審査委員会委員に同意

平成24年3月31日をもって任期満了となる鴨源一氏に代わり、横山昇氏を平成24年4月1日から委員とするもの。

●横山 昇のぼる

住 所 川西町大字小松

全員賛成により選任



旧2中の現地調査、利活用の推進を

請 願

継 続

◎脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書の提出を求める請願

《請願者》

山形市木の実町12番37号大手門バルズ4階山形県平和センター内
さよなら原発県民アクション

呼びかけ人代表

高橋 義雄

《紹介議員》

高梨勇吉、高橋照夫

黒澤 巖

《請願の趣旨》

原子力発電依存から再生可能エネルギーへと転換することや運転中の原発は順次廃炉にすることなどを求める。

審議未了につき継続



広報モニターから

ひとこと③

中 郡 渡部 忍 さん

私は、今の職場の前は、地区の公民館に勤務していました。ひとつの事業を成功させるために、地区民の協力をいただきながら活動をしていく場を多く経験させてもらいました。活動の中においても、行事の参加者の減少が見られ、高齢者の方からのお話の中には昔は

もっと活気があったなどの声も聞こえていました。

様々な問題がある中解決に向けてご尽力いただいている議員の方々には、町民の幅広い意見を取り入れ、魅力あるまちづくりを目指していただきたいと思います。

広報モニターの依頼を受け、一年たとうとしています。未だ私は議会の傍聴ができていない現状です。開催日の中に土日を入れることを考えていただきたいと思います。

町民の多くの方に、議会の傍聴を促すためにも議会の開催の日割りなどを考慮し、幅広い年齢層の方が傍聴できるように、議会の体制づくりをしていただければと思います。なお、私も広報モニターとして議会の傍聴をするようにしたいと思っています。

表彰

議会だより 全国コンクールで 2年連続優良賞

議会だより第105号が第26回町村議会広報全国コンクールにおいて昨年に続き2年連続「優良賞」を受賞しました。（応募総数211議会）

審査会では今回から「審査基準の指針」を設定。指針は①企画（伝達と的確性）②文章（表現力、適切な語法、表



優良賞 第105号



栄えある2年連続の優良賞受賞
喜びの広報常任委員会

記など）③デザイン、レイアウト④写真（表現力、技術力）の4項目で構成され、項目ごとに住民参加が図られているか、読者にとってわかりやすい文章なのかなど、読者本位の編集という姿勢が求められています。審査会での共通の感想は「ますます順位付けが難しくなった」と述べられています。

今後もさらに努力し、町民の皆様へ愛読いただける議会だよりをめざし、委員会一同全力で頑張ります。



金子一郎 議員



淀 秀夫 議員

全国町村議会議長会表彰
全国町村議会議長会より淀秀夫議員が「在職15年表彰」を受賞しました。

置賜地方町村議会議長会表彰
置賜地方町村議会議長会より金子一郎議員が「在職17年表彰」を受賞しました。

おめでとう自治功労者表彰

第26回町村議会広報全国コンクール表彰作品

	広 報 名	議 会 名
最 優 秀 賞	議会だより しょうわ	山梨県昭和町議会
特別優秀賞	議会 ながいずみ	静岡県長泉町議会
優 秀 賞	みさとまち議会だより	宮城県美里町議会
同	みさと議会だより	秋田県美郷町議会
優 良 賞	しずくいし議会だより	岩手県雫石町議会
同	りふ議会だより	宮城県利府町議会
同	かわにし議会だより	山形県川西町議会
同	よしおか議会だより	群馬県吉岡町議会
同	つばた議会だより	石川県津幡町議会
同	こうた議会だより	愛知県幸田町議会
奨 励 賞	10点	
表紙フォト クラブリ賞 (中央文化社賞)	議会だより たけとよ	愛知県武豊町議会

まちの未来が見える (3月定例会の傍聴者は25人でした)

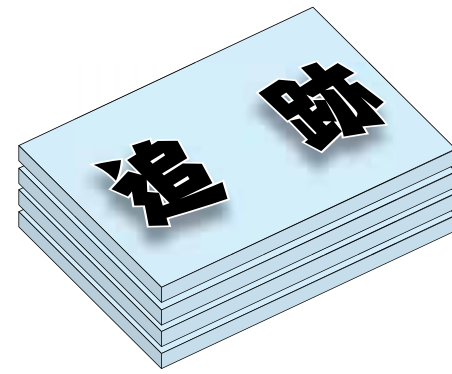
議会傍聴においで下さい

手続きは簡単 次の定例会は6月です

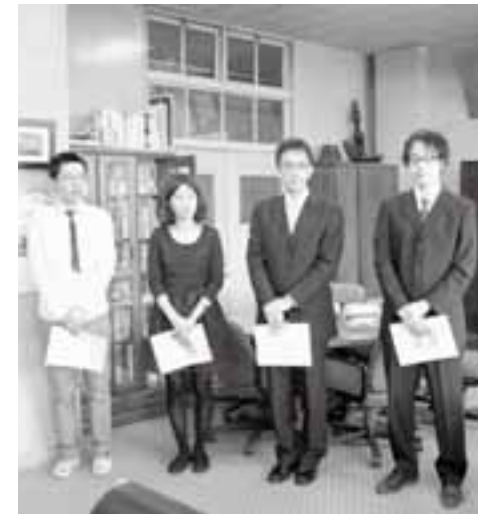
あなたが撮った写真を公募します。

議会だよりの表紙に、町民の皆様方の写真を提供してください。いきいきとした笑顔輝く子どもたちの写真を公募します。

問い合わせは議会事務局
(☎42-6674) まで



あれから…… どうなった！



新たな息吹に高まる期待、
地域おこし協力隊のみなさん

今までの経過

本町では、総務省が推進する「地域おこし協力隊」を平成23年度から導入し、隊員の配置を希望する活動拠点団体（きりよしじまネットワーク、小松地域振興協議会）で各1人が活動した。

意欲ある都市住民などに委嘱し、住民票及び生活拠点を過疎地の自治体に移したうえで、地域協力活動に従事していただく制度。

活動拠点団体のコーディネートにより、示された地域活動への協力を一年間展開してきたが、課題も多く残った。

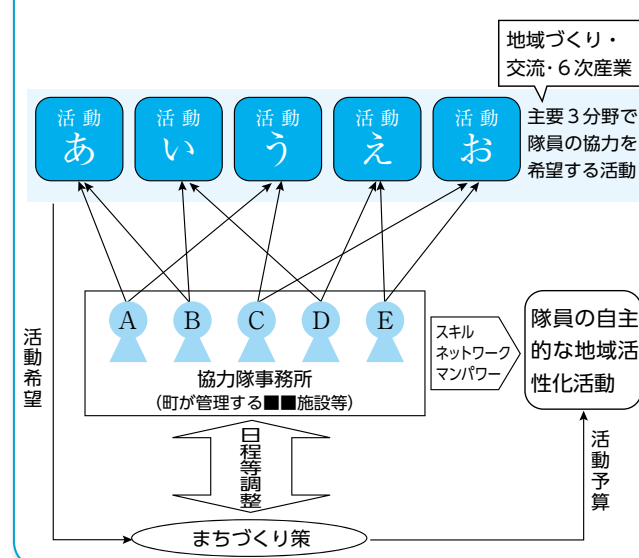
平成24年度の方針

本年度は、継続して隊員となる方を含め、5人を隊員に委嘱する。隊員の活動分野は、町の主要事業プロジェクトである「地域づくり」「交流」「6次産業化」とする。

隊員の協力を希望する活動がある団体は、あらかじめ希望する具体的な活動内容を示し、それに基づき町が選考して隊員を派遣する活動を決定する。

隊員は、基本的に2人1組を単位とし、担当する活動（団体）を複数持つこととする。派遣の日程などは、町が調整する。

平成24年度の隊員活動イメージ



地域おこし協力隊の身分は次のとおり。

①町の非常勤特別職として町長が委嘱。

②任期は1年間。最大3年まで可。

③報酬は月16万6000円、住居、活動車両、活動用パソコン等は町が貸与。

④活動時間は週40時間、年休10日。

都市部からおいでになる隊員の方々の活躍によって刺激をいただき、成果を上げたい。

※6次産業化
農業者自ら1次産業（生産）、2次産業（加工）、3次産業（流通販売）に取り組み、農業を総合産業化すること。1+2+3=6次を意味する。

まちづくりに大きな刺激を 『地域おこし協力隊』を配置



❖ プロフィール ❖

ささき まちこ
佐々木 真智子

川西町西大塚生まれ 在住

結婚5年目

1歳の女の子、3歳の男の子、
夫との4人家族。

大塚にお住まいの若いお母さん佐々木真智子さんに川西町に望むことをお聞きしました。

川西町に住んで思うこと

私は、生まれも育ちも川西町です。慣れ親しんだ町で豊かな自然に囲まれ、子育てにはとてもいい環境だと思います。

また、私の住んでいる地区では、たくさん子どもがいて、夕暮れ時にもなると子どもの元気に遊ぶ声が響いています。

子どもも神輿や火の用心などの風習が残っており、昔ながらの子どもが集まる地域が気に入っています。

子育てをして感じていることは

家には、元気な子どもが2人います。

仕事が休みの日には子どもとの時間を大切にしています。天気の良い日は外に出て散歩したり、サッカーをしたりし、体をよく動かしてご飯をたくさん食



休みの日には一緒に遊びます

べられるようにしています。

子育ては、時間に追われる毎日の中、決して楽しいことばかりではなく、大変なことも多いのですが、母親として必要とされることに「生きがい」を感じ、それが毎日の元気になると思っています。

行政に何を望みますか

川西町には、立派な体育館や芝生のグラウンド、ダリヤ園等の施設があります。空いている日に「幼児開放日」を設けていただき、

思いっ切り広いところで親子が遊べる場所を提供していただけるとありがたいです。

また年々、子育て支援としての援助（医療費、予防接種など）が充実し、家計の上でもとても助かっています。

今年からは新しい保育所や小児科医院などもできるようで、町が子育て支援に力を入れてくださり、ありがたいと思っています。

これから子育てしやすいまちづくりを期待し、私も親として頑張っていきたいです。

編集の後で

▼議会だよりが2年連続全国優良賞の受賞に輝いた。町民参加と読者本位の編集の姿勢が評価された▼未曾有の東日本大震災から一年。さまざまな災害を体験した一年だった。いま、産業や個々人の生活に必要なエネルギー問題など原発に代わる新エネルギー開発が急務であり、平行してさらなる防災意識高揚が大切である。

(高照)

発行責任者 齋藤 修一

委員長 佐々木 賢一

副委員長 斉藤 智志

委員 高橋 輝行

同 高橋 照夫

同 高橋 建一

同 遠藤 章一

アドバイザー(文章)

小林 伸也

近野 ユキ子

アドバイザー(写真)

阪野 吉平

青木 督平

鴨 源一